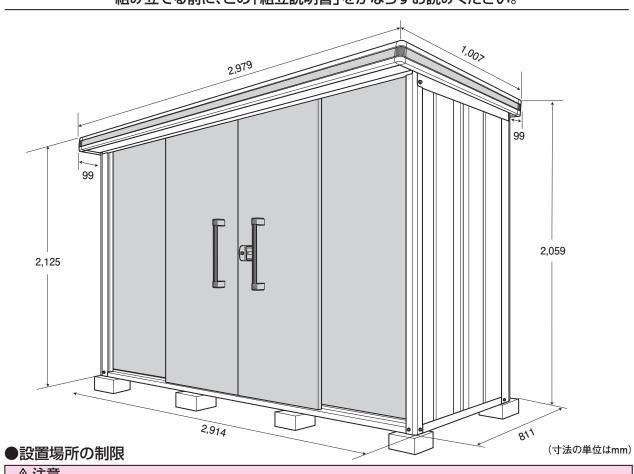
# 

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。 組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- ●崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

### ●組立施工の際には

⚠注意

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。 ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。 ●組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。

●組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

- ●風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- ●高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●梱包組み合わせ表

;	機種	2908 型			
部品		LM5-0161			
枠	上枠前後	LM5-0207			
	下枠前後	LM5-0257			
	上枠左右(一般型)	LM5-0308			
	上枠左右(積雪型)	LM5-0309			
	上枠左右(豪雪型)	LM5-0310			
	下枠左右	LM5-0351			
柱		LM5-0413			
間柱	一般型・積雪型	LM5-1403			
	豪雪型	LM5-1433			
鼻隠し		LM5-1107			
補強(積雪型・豪雪型)		LM5-3577			
床		LM5-0705			
屋根		LM5-0905			
壁		LM5-1003			
		LM5-1003			
袖壁		LM5-1057			
扉		LM5-1707			
棚板		LM5-1901			
合計	一般型	15			
	積雪型	16			
	豪雪型	16			

### ●梱包内容表

<b>一個已內台</b> 衣							
●部品		●上枠左右		●補強		●間柱	
LM 5-0161		LM 5-0308		LM 5-3577		LM 5-1403	
部材名	数量	部材名	数量	部材名	数量	部材名	数量
ELD 間柱固定金具	4	ELD 上枠左 A1.0	1	ELD 上枠補強 OD-E	1	ELD 間柱 前 L	2
ボルト(スプリングワッシャー付)M 6× 15	9 (1)	ELD 上枠右 A1.0 DLN	1			ELD 間柱 後 L	3
EL 上枠前連結金具	1	(「一般型」ラベル貼付け)	'	●床			
床押え金具③	1			LM 5-0705		LM 5-1433	
屋根止結金具 KN	3[3]	LM 5-0309		部材名	数量	ELD 間柱 前 U L	2
Τ型レンチ	1	ELD 上枠左 A1.0	1	ELD 床板 A1.0	8	ELD 間柱 後 L	3
ELD アンカープレート (L)	4	ELD 上枠右 A1.0 DLS	1				
ELD 屋根隙間隠し A	3	(「積雪型」ラベル貼付け)	ı	●屋根		●扉	
ELD 屋根隙間隠し B	1			LM 5-0905		LM 5-1707	
ポルトM 6 × 15 (白)	147 [8] (5)	LM 5-0310		部材名	数量	部材名	数量
組立説明書	1	ELD 上枠左 A1.0	1	ELD 屋根 (70) A1.0	4	ELD 扉右 L-A	1
取扱説明書	1	ELD 上枠右 A1.0 DLU				ELD 扉左 L-A	1
保証書 5 年	1	(「豪雪型」ラベル貼付け)	1	●壁		ELD 取手	2
※数量の()内は一般型及び積				LM 5-1003		ELD 扉支持材 OD-A	1
内は一般型、〈 〉内は積雪型( 表しています。	の予備数を	●下枠左右梱包		部材名	数量	ELD 戸車上昇防止プレート OD	4
		LM 5-0351		ELD 壁パネル L-A	3	ボルトM6×15(白)	6
●上枠前後		部材名	数量				
LM 5-0207 部材名	数量	ELD 下枠側 A1.0 (左)	1	●袖壁		●棚板	
	<u> </u>	ELD 下枠側 A1.0 (右)	1	LM 5-1057		LM 5-1901	
ELD 上枠前 OD-A4.0	1	220 111/07/110 (11)		部材名	数量	部材名	数量
ELD 上枠後 A4.0	I	●柱		ELD 袖壁 L-A	2	ELC 棚板 A1.0N	2
●工物並然拥有		LM 5-0413				ELC 棚受 N 右	2
●下枠前後梱包		部材名	数量	●鼻隠し		ELC 棚受 N 左	2
LM 5-0257	*/- ==	ELD 柱前 OD- 右 L	1	LM 5-1107			
部材名	数量	ELD 柱前 OD- 左 L	1	部材名	数量		
ELD 下枠前 OD-A4.0	1	ELD ## OD TE		ELD 鼻隠し前 A4.0	1		

ELD 鼻隠し後 A4.0

### ●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に 従って組立てしてください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。

### ※安全のため必ず手袋を着用してください。

4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、 ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

### ●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

・コンクリートブロック 8ヶ(幅19m×長さ19m×厚さ10mが適当です。)

・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)※土の上に設置する場合に必要です。 ・芯棒打ち込み式アンカー (M12×70以上) 4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

### ●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

·軍手 ·水準器 ·脚立

### ●使用ビス一覧



### ●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図 のような方法があります。強風による転 倒防止のため、必ず行ってください。

内アンカーにする場合はオプションの「内アンカ 【-☆- 注意】 ーセット」が別途必要です。アンカープレート(L) を使って内アンカーの工事はしないでください。

下枠前

コンクリートブロック

### 《土の上に設置する場合》 《コンクリート床の上に設置する場合》 オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み 4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコ ンクリートを流し込んでアンカープレー 式アンカー(M12-70以上で)で固定して ト(L)を固定します。 ください。 本文ではこの方式 アンカープレート を基本として説明 しております。 コンクリートブロック、 コンクリート 〜 ※組立て後に打ち込み

▲ 注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

アンカープレート

/1番上の孔を

、使用します 丿

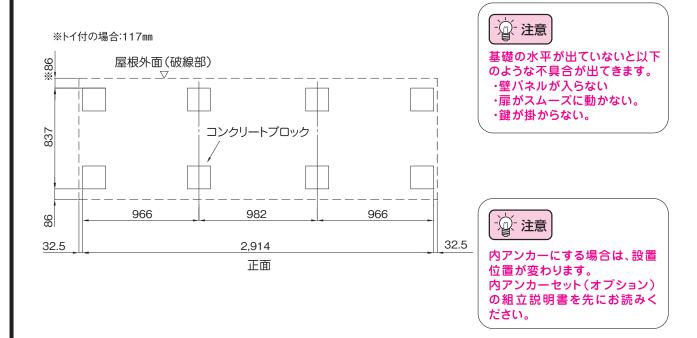
# 1基礎施工

穴サイズ(タテ・ヨコ×深さ)

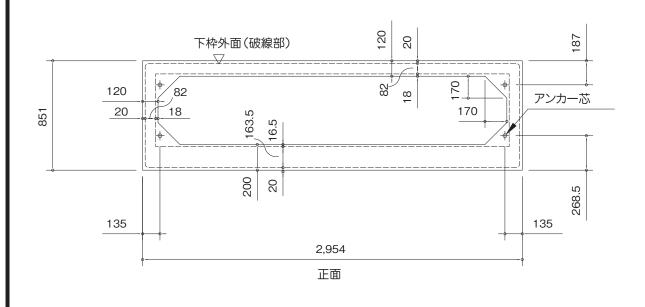
350□×350(mm)

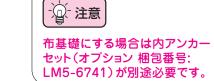
①設置場所の地ならし、地固めを行います。

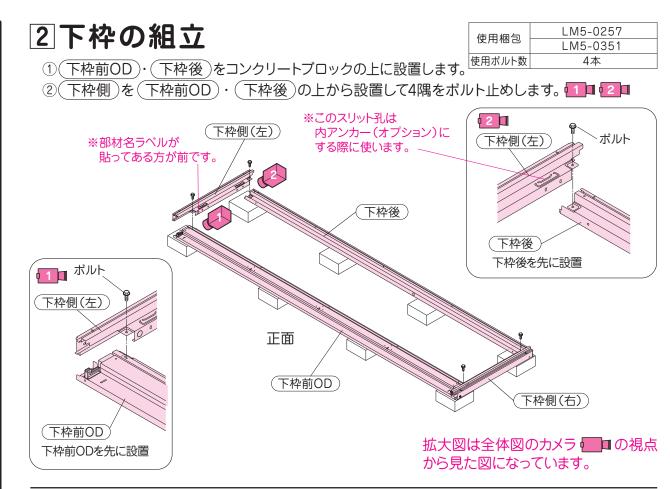
②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)

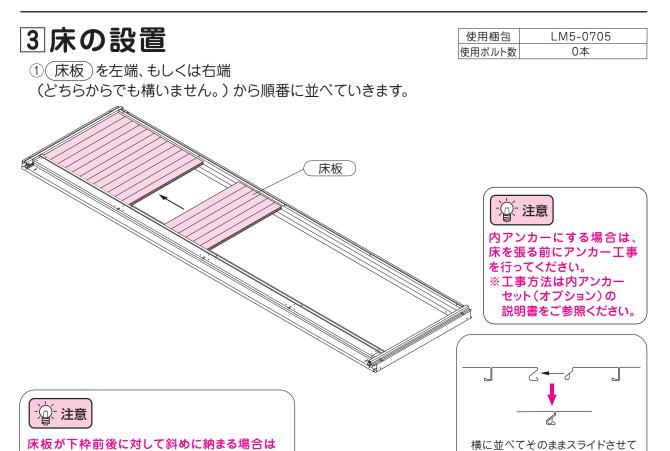


## 《**布基礎の場合**》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)

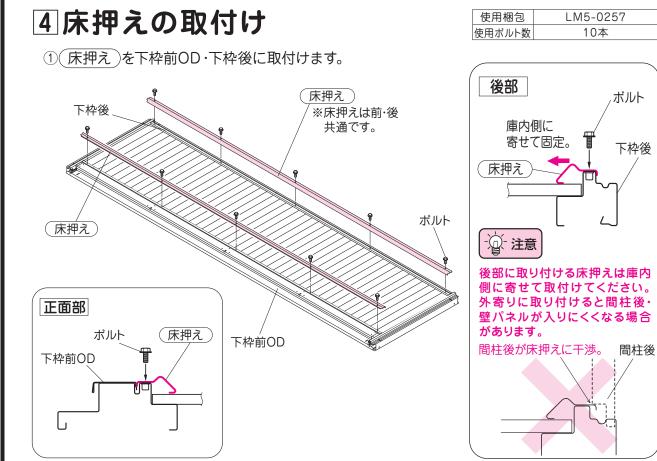




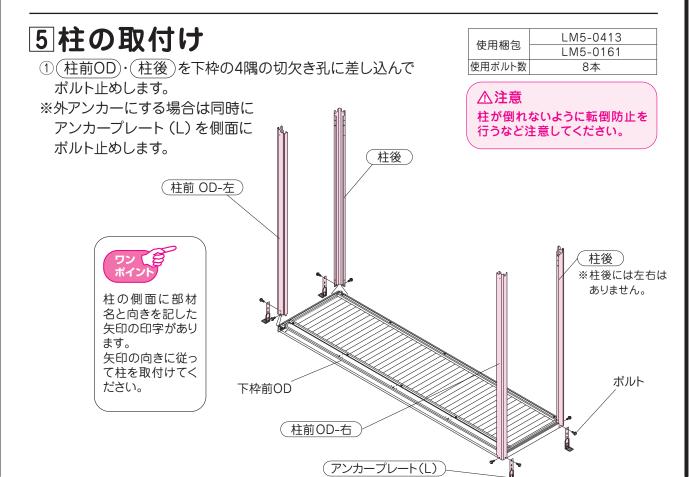


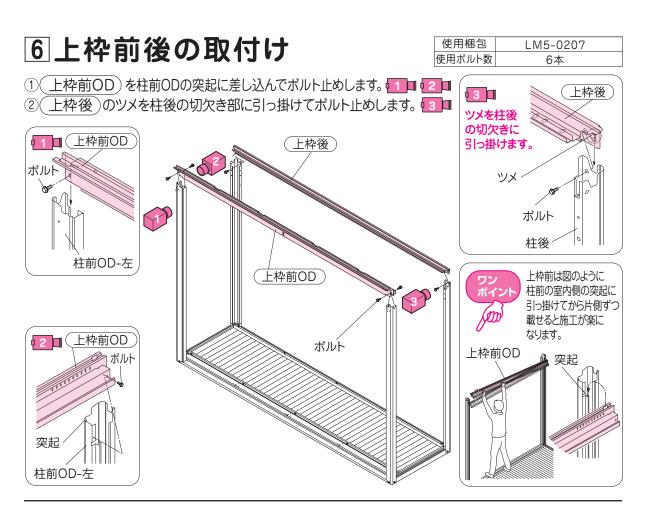


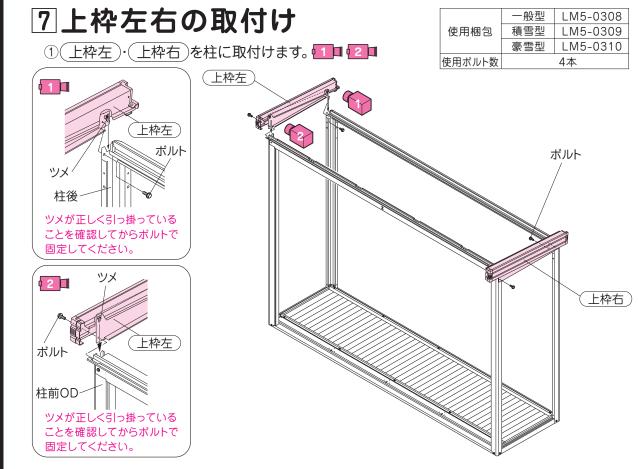
はめ込みます。

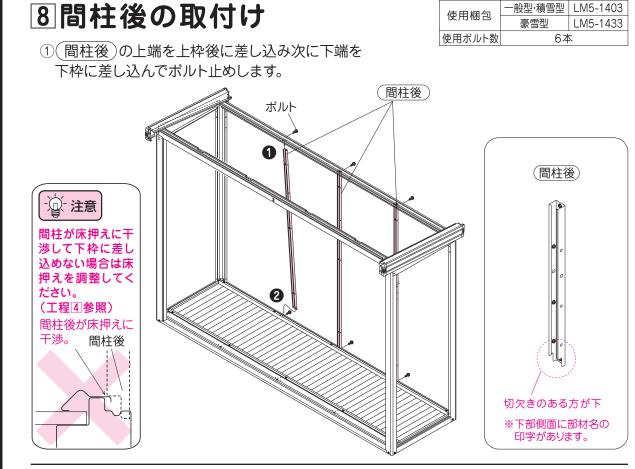


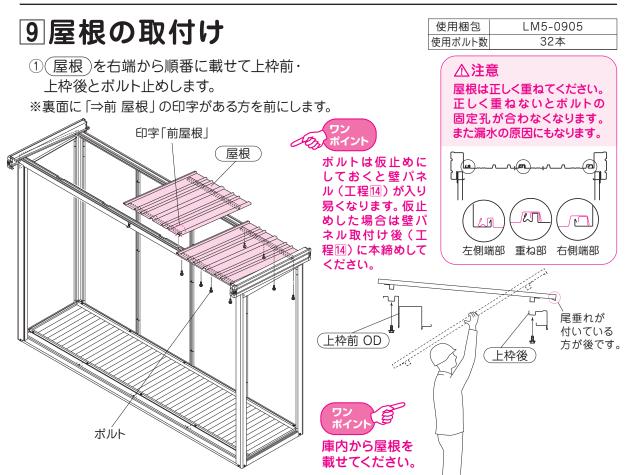
下枠の対角を修正してください。





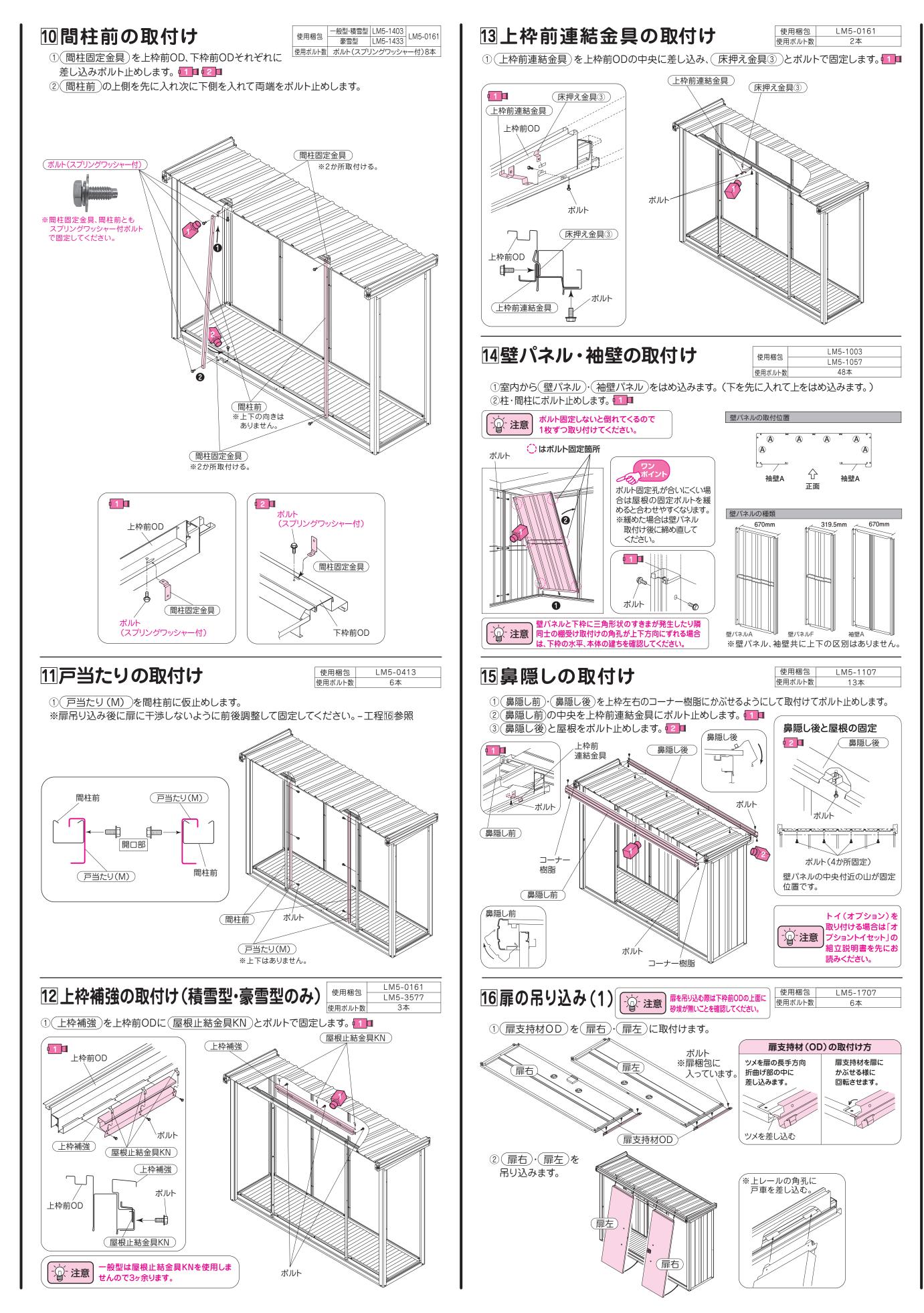


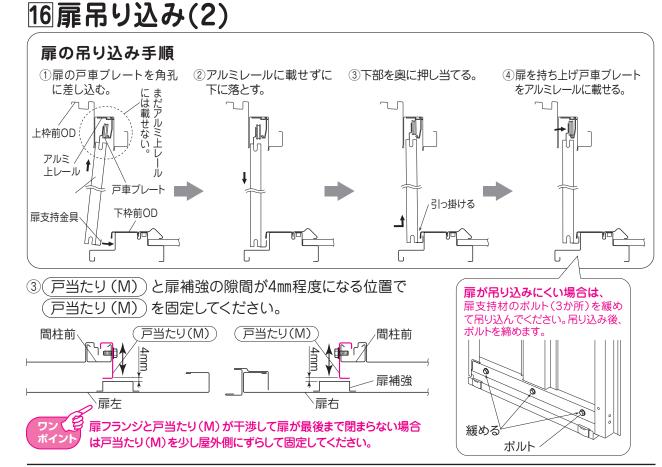




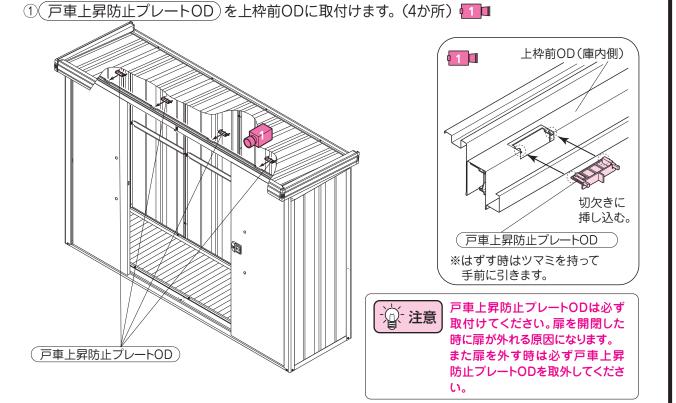
ELD 柱後 L

ELD 下枠後 A4.0





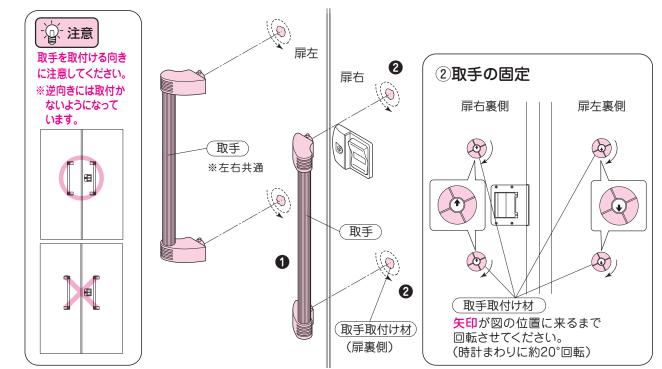
# 



# 18取手の取付け

使用梱包 LM5-1707

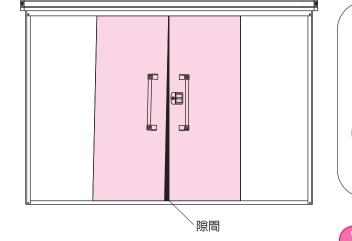
① 取手 を扉右・扉左の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。 ②扉裏の(取手取付け材)を回して取手を固定します。



# 19扉の建付け調整

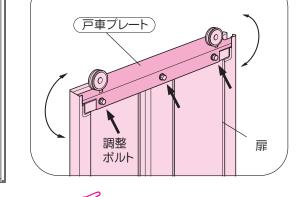
①扉を閉めて扉右と扉左の隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、 戸車を固定しているボルト (調整ボルト)をゆるめて調整します。



注意 注意

建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、 本体の建ちを直してください。



ボルトをゆるめて庫内から扉を 閉めて扉同士が沿うように手で 押さえながらボルトを締め直します。



0本

(棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。

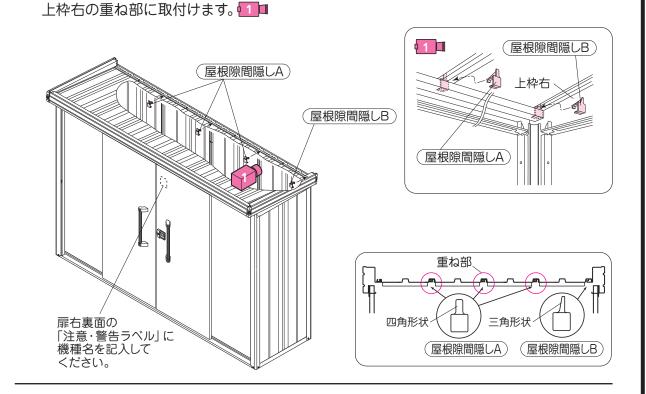
②(棚板)を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A1.0が2枚付いています。)

△ 1上のツメから 差し込みます。(棚受・N左) 下のツメを差し込み角孔の下端まで 棚受を押し下げます。 棚板取付け例 棚受·N右 A1.0 A1.0 棚板の奥側を のせる 棚板 差し込む \_\_\_の壁パネルには棚受は [-資-注意] 取付けできません。

# 21 その他部品の取付け

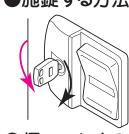
使用梱包 LM5-0161 使用ボルト数

①扉裏面の注意・警告ラベルに、機種名、を記入します。 ② (屋根隙間隠しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と



# ◆錠操作方法について

●施錠する方法

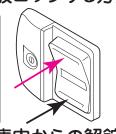


施錠:鍵を差し込んで反時計回りに 180° 回します。 解錠:鍵を差し込んで時計回りに

180° 回します。



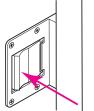
●仮ロックする方法



仮ロック:ボタンの上側を押し込みます。

解錠:ボタンの下側を押し込みます。

●庫内からの解錠方法 施錠時、仮ロック時どちらの場合でも庫内から解錠できます。 (庫内からの施錠、仮ロックはできません。)



庫内側のレバーを押し込みます。 ※施錠した状態で内部から解錠した場合、 次に施錠する際には鍵を一旦時計回りに 180° 戻す必要があります。

使用しない時は中に人がはいらない よう必ず施錠してください。 施錠、仮ロックする場合は庫内に人が いないことを十分確認してください。

チェック欄



組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。 ①扉の建て付け調整ができているかご確認ください。

②鍵が正常に作動するかご確認ください。

③戸車上昇防止プレートODが取りついているかご確認ください。

④棚板の配置確認をしてください。

⑤機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル) ⑥ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

# ○こんな時は

戸車上昇防止プレートODを外して扉を吊り込み ・扉が外れてしまった。 なおしてください。(工程16177) ・取手が外れる。 取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程個) ・**扉が最後まで閉まらない。** 戸当たり (M)を調整してください。(工程<u>個</u>)

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。 施工業者の方へ 本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。



(2908)